

 発行日
 令和5年12月13日

 発行者
 宍道高校通信制課程

 松江市宍道町宍道1586

TEL 0852-66-7577·FAX 0852-66-7117 印刷所 (有) 木 次 印 刷

【碧雲通信名前の由来】たなびく雲の下にあお (碧) く輝く宍道湖を、江戸時代の文人・菅茶山は「碧雲湖」と名づけ、その美しさを称えました。これを新しい高校の通信誌名として拝借しました。

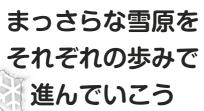








雪原に残る足跡は、それぞれが歩んだ軌跡













11月16日 平田木綿街道にフィールドワークに行ってきました。

### ▶ 12・1月号の掲載内容

$\circ$	教務部より	
	レポート作成について	(2)
	後期試験について	(2)
	後期試験範囲と要点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(4)
$\circ$	総務部より	
	卒業予定生のみなさんへ	(9)

○進路部より

令和5年度 島根県就職内定者合同研修(2月)の案内 $\cdots$  (9)

○保健相談部より

スクールカウンセラー(SC)の来校日程 ……… (9)

○教育開発部より

まなびのキセキ☆発表会 参加者募集について… (10)

ホームページ https://www.shinji-h.ed.jp

### 教務部より

# レポート作成について

レポートは独力(自学自習)で作成するものです。基本、家で一人で教科書・学習書を読み込んで、<u>(インターネット等の情報を写すのは不可)</u>じっくりと取り組んでください。レポートの作成については、<u>他の人と相談したり、写したりしてはいけません</u>。必ず、自分で解答してください。わからないことや質問は、レポート支援に出席したり、担当教員に聞いたりしてください。その他の留意事項は、「学習の手引き」(P10)で確認をしてください。

友達の解答を明らかに写したと思われるレポートが見つかった場合は、レポートの受付を取り消し、厳しく指導します。

## 後期試験について

#### 1. 受験資格

- ・各講座の後期レポートがすべて合格締切日までに合格していること。
- ・各講座の後期の面接時数(スクーリング出席時数)を満たしていること。
- ・「受験願」を提出していること(1月11日(木)17:00必着)。

#### 2. 日程

日にち	レポート提出	受験願	後期	試験
D (- 5	レホート提出	文學別	宍道	隠岐(※1)
12月26日(火)	レポート合格締切 (17:00必着) 以降は受付けない			
1月4日(木)		受付け開始 土・ <b>日・祝日は受付けない</b>		
1月11日(木)	「総合的な探究の時間」 第3回レポート合格締切 (17:00必着)	提出締切(17:00必着) 以降は受付けない		
1月18日(木)			木T 1	
1月21日(日)			⊟T1	<b>協T 1</b> (1/20、1/21)
1月22日(月)			月T 1	
1月23日(火)		T2・協T2への変更願 提出締切(17:00必着)		
1月25日(木)			木T2	
1月28日(日)			日T2	協T2 (1/27、1/28)
1月29日(月)		再試験申請締切 (17:00必着)		
1月31日(水)			再試験 (※2)	別途連絡
2月8日(木)		追認試験申請締切 (17:00必着)		
2月16日(金)			追認試験	協力校追認試験 本校にて

- (※1)隠岐高校(協力校)で受験できるのは8Aルームの隠岐に住所がある生徒のみです。
- (※2) 再試験受験には条件があります。学習のてびき P13 参照。

#### 3. 試験を実施する講座と試験範囲

後期試験は、総合的な探究の時間以外のすべての講座で実施する。 実施講座の試験範囲と要点参照。(体育・音楽の試験はすべて実技である)

### 4. 受験手続き

- (1)「受験願」の記入と提出
  - ①各講座の受験日、時間を決める。

(碧雲通信9・10月号の時間割で確認し、他講座と重ならないように気をつける)

②各講座の「受験願」に必要事項を正確に記入し、生徒バーコードシールを貼り付ける。

必要事項:ルーム、氏名、受験場、受験日、時間を記入する。

③「受験願」を期日(1月11日(木)17:00必着)までに提出する。

<受験願について>…「学習のてびき」P12・13参照

後期試験の受験願は、後期レポートの後についています。

後期レポートの回数は、レポートの表紙や『学習のてびき』で確認しましょう。

#### (2) 注意事項

- ①受験日の変更をしなくてよいように、しっかりと考えて提出すること。やむを得ない事情により変更する場合は、6.①参照。
- ②「受験願」は、漏れのないように正確に記入し、記入後、点検をして提出すること。 体育は、必ず選択種目を記入すること。

#### 5. 受験上の注意

①机上に置く物は、「生徒証」(※)と鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、定規のみ。 教科書、学習書、レポート、ノート、筆箱、携帯電話(電源はオフにする)等はカバンに入れ、机の横に置く。 (指示があった講座は電卓・コンパスも可)

②カンニング等の不正行為、それを疑われるような行為をしない。

(不正行為をした場合、その試験は0点とする。)

- ③受験途中の退出はできない。時間いっぱい取り組む。
- ④試験開始後5分以上遅刻した場合は、受験できない。
- ⑤試験中は携帯電話のアラームは必ず解除し、電源を切ってカバンに入れるか、試験監督に預ける。 試験中に携帯電話が鳴った場合は、不正行為と見なすことがある。
- ⑥試験中は、特別な理由がある場合を除いて、帽子やマフラー、手袋等防寒具の着用、ひざ掛けの使用は認めない。
- ⑦腕時計は、計時機能のみのものを使用する。

### 〔生徒証について〕

※生徒証は受験票として氏名、写真が見えるようにして机上に置きテストを受けること。

※万一、生徒証を当日忘れた場合は、受験の前に事務室で仮生徒証を発行してもらい、必ずその日のうちに返 却すること。

#### 6. その他

①受験日をやむを得ず変更せざるを得ない場合のみ、「受験願【変更】」を提出する。<u>その際必ずルーム担任に早</u> 急に連絡すること。

T2・協T2への受験願【変更】提出締切:1月23日 (火) 17:00必着

②その他『学習のてびき』 P 12・13を参照のこと。

## ※本誌にて確認ください

# 後期試験範囲と要点

## 国 語

講座名	現代の国語(後半)	言語文化(後半)	文学国語(後半)	古典探究(後半)
担当者		※本誌にて	確認ください	
教科書範囲	<ul><li>○評論「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」</li><li>○随想「鍋洗いの日々」</li><li>○随想「外たでのほっぺ」</li><li>○随想「無彩の色」</li><li>○評論「真の自立とは」</li></ul>	○訓読の基本「訓読」「格言」 ○故事成語「五十歩百歩」 ○論語のことば「論語」 ○小説「第一夜」「第六夜」(『夢十夜)) ○命をうたう「I was born」 ○古人の生き方「芥川」「筒井筒」 (『伊勢物語』)	○詩 「こころ」「永訣の朝」 ○小説 「ナイン」 「ひよこの眼」 「こころ」 「山月記」 「清兵衛と瓢箪」	○大鏡「弓争ひ」     ○古典の常識あれこれ     ○説苑「後患を顧みず」     ○新序「人ごとに其の宝有るにしかず」     ○源氏物語「光る君誕生」「若紫」     ○「四面楚歌」時利あらず・項王の最期     ○「万葉集」・「古今和歌集」「新古今和歌集」
範 ポート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回 (第3回は「折々のうた」の部 分を除く)	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第6回
学習の要点	●教科書本文を繰り返し読んでおきましょう。1回は音読をしてもまくといです。 ●漢字の読み書きも合かて、レまっただし、一部、発展問題も合や、一部、発展問題もあります。 ●筆者独特の着眼点やそいのでは、部というについて理解し、説明である。また。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	●レポートの内容を中心に出題しますが、応用問題もあります。 →教科書本文は無り返し読記をきなでおきましょう。 ●現代文でも変現に気が高います。 ・現代文でも変現に気が高いるでは、抑揚やのつして復写しましてでは、一下のより。 「芥川」「筒井筒」は、話はしいでは、一下のり返して変を見比べて、では本り。と変数目を見らっ。 ・変に、中ではなりを数型と、語の代し、一次では本文をが、までし、内容と数型と、の内代し、で、では本文のでは、といったが、ないました。 ・変に、とが、とが、とが、といったり、次が語ったと、ないまない。	●レポートの内容を中心に出題しますが、一部、応用問題もあります。 ●教科書の文章を見ながら復習しましょう。 ●詩は、作品に込めた作者の思いや感動、および表現技巧について説明できるようにしょう。 ●小説は登場人物の言動、心理協との小説は登場人物の言動であるようにしましょう。 ●小説の作者を変や心理の変化およびまとしまう。 ●小説の作者きるようにしましょう。	●レポートの内容を中心に出題しますが。「応用間題もあります。 ●「大鏡」、「所張氏語記をは語じめ、レポートの内容と教科書を見比べて、繰り返し後習しまう語ではしか。り定着さいた者をはじめ、上ボートの内容と教子書を見比べて、繰り返しを消しょう。 ● 「方乗集」・「古今和歌集」・「み和歌集」・「方角和歌集」・「古今和歌集」・「古今和歌集」・「京和歌集」・「政規記・修辞法(の使田などを確実に答う。 ● 「古典の常の諸・場の記止めとを確実に答う。 ● 「古典の常の3ページ目)からもが一ト週とず出題します。準備をしておいてください。

## 地理歴史

講座名	地理総合(後半)	地理探究(後半)	歴史総合(後半)	日本史探究(後半)	世界史探究(後半)
担当者		<b>※</b> :	本誌にて確認くだ	さい	
範教 科 囲書	教科書 P120~214 学習書 P176~301	教科書 P166~335	教科書 P112~189 学習書 P114~203	教科書 P166~307	教科書 P186~389
総ポート 囲	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第6回
学習の要点	◎レポートの内科書、学学の内容書、教育書、教授業の学します。教教書、学学の学します。教授業の学したう。という。○国名や都市名などはでおき、国域や写真確認しているのである。○教書がいるものにいいるものにいいるものにないます。にいいるもので答えましょう。	◎レポートの内科書、地とす。教科書、地とます。教科書、地とます。教科書、地とまなどは、長さい。 大授業の学習したら、 と見確認しております。 (国域・本国土を確認して、漢文とは、近代書のは、本国土を確認して、東書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書においるのは、本書によいるのは、本書によいるのは、本書によいるのは、本書によいるのは、本書によいる。	☆レポートの内ボートトの内ボートトの内をボートの内をボートの内をボートの上をしているという。というになった。一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、	☆レボー・ の内がボートで いっぱい しまい かっぱい しまい かっから かっから かっから かっから かっから かっから かっから かっか	☆レボー かっという はいます はいます はいます かっという いっという はいっという はいっという はいっという はいっという といっという はいっという といっという といっという といっという という という という という という という という という という

## 公 民

講座名	公共 (後半)	倫理(後半)	政治・経済(後半)
担当者		※本誌にて確認ください	\
範教 科 囲書	教科書 P112~195 学習書 P130~250 (但しレポートと関連する所)	教科書 P84~226 学習書 P68~159 (但しレポートと関連する所)	教科書 P119~249 (但しレポートと関連する所)
範ボート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
	☆出題内容について ①レポート ②教科書、学習書	☆出題内容について ①レポート ②教科書、学習書	☆出題内容について ①レポート ②教科書
学習の要点	<ul> <li>① キにレポートの内容を中心に出題します。重要語句などは特に見直しておきましょう。</li> <li>②用語や人物名をただ暗記するのではなく、自分の言葉で、漢字を使用して、説明できるように、教科書をよく読んでおきましょう。また、問題文をよく読み、何を問われているか考えて慎重に答えましょう。</li> </ul>	<ul> <li>①主にレポートの内容を中心に出題します。重要語句などは特に見直しておきましょう。</li> <li>②用語や人物名をただ暗記するのではなく、自分の言葉で、漢字を使用して、説明できるように、教科書をよく読んでおきましょう。また、問題文をよく読み、何を問われているか考えて慎重に答えましょう。</li> </ul>	<ul> <li>①主にレポートの内容を中心に出題します。重要語句などは特に見直しておきましょう。</li> <li>②用語や人物名をただ暗記するのではなく、自分の言葉で、漢字を使用して、説明できるように、教科書をよく読んでおきましょう。また、問題文をよく読み、何を問われているか考えて慎重に答えましょう。</li> </ul>

## 数 学

講座名	数学 I (後半)	数学Ⅱ(後半)	数学A(後半)	数学入門(後半)
担当者		※本誌に	て確認ください	
教科書範囲	P73~148、P154~161 第2章 2次関数 第3章 三角比 第4章 集合と論証 第5章 データの分析	P72~133 第3章 三角関数 第4章 指数関数と対数関数 第5章 微分と積分	P40~75、P80~83、P86~91 第2章 図形の性質 第3章 数学と人間の活動	P89~164 第2章 「数と式(因数分解)」 第3章 「関数」 第4章 「平面図形」 第5章 「データの分析」 発展学習 「調べてみよう!」
範ボート	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	◎き変別 (頂実が、最確方利、手をもよう。 2 (次 ) の 2 乗を作る ) が必要が、最低方利、手を中であり、が必要が、最低であり、いっかった。 2 (次 ) の 2 乗を作る ) が必要が、最低であり、いっかった。 ( 「	三角関数の値の符号、グラフ、礎知識の作号、グラスとの基準などの基準などの基準などの基準を開発、加法定理理関値の正理、との直接を書くり、指数関数と対数関数を含む対数を含む対数を含む対数を含む対数を含む対数を含む対数を含む対数を含む対	数学と人間の活動 レポートの問題が穴埋めでなく ても解けるように、解法のきましっかりと確認しておきま しょう。 10進数を 2 進数や 3 進数に変換 したり、その逆に10進数にき したりできるようにしておき したりできるようにしておき しまう。 素数を上手に利用して、複数の 整数の最大公約数や最小公倍きま を求められるようにしておき	<b><u> </u></b>

## 理科

_	<b>毒</b> 怪名	科学と人間生活 (後半)	物理基礎(後半)	化学基礎(後半)	生物基礎(後半)
主言	旦当皆		※本誌にて	確認ください	
考和言单臣	<b></b>	教科書 P14~37 P180~207	教科書 P96~163	教科書 P80~103 P106~133 P136~163	教科書 P74~117 P120~165
範囲	ポート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
0	学習の要点	レボートの内容を中心に出題します。微生物の種類と名称、名れるの種類やどんな食品が作られるのかをよく理解しましょう。微生物を利用した科学技術もしっかり学習しましょう。日本の周りにあるプレートや地震質性、火山の形とマグマの習して説明となどもしっかり復知して説明とよう。「〜に問題という記述問題とよう。」という記述問題とよう。に対します。しっかり書けるように練習しましょう。	レポートの問題を基に出題しますが、問の形式、数値などは変えます。もう一度レポートをやり直すつもりで、教科書をよく読みながら復習きをよしまう。数値計算を要する問題も出題します。公式や単位をおさらい出までもので電卓等の使用は不可です。	レポートの内容を中心に出題します。 1章では、物質量や溶液の濃度の計算と、化学反応式の係数が表すものを重点的に復習しましょう。 2章では、酸・塩基の定義と、酸・塩基の価数と強弱と、中和反応とその量的関係について重点的に復習しましょう。 3章では、酸化・還元における電子の動き、金属のイオン化傾向と電池の関係を重点的に復習しましょう。なお、計算は簡単にしていますので、電卓等の使用はできません。	レポートの内容を中心に出題します。 3編では、自律神経のはたらき、ホルモンのはたらき、血糖値の調節を理解しておきましょう。また、免疫のしくみやそのしくみを利用した予防や治療、その異常による病気も大切です。 4編では、遷移のしくみやバイオームについて理解しておきましょう。また、生態間の関係、人間が生態系へ及ぼす影響と保全についても理解を深めておきましょう。

### 保健体育

	CIT P.	
講座名	体育1~5(後半)	保健(後半)
担当者	※本誌にて研	<b>崔認ください</b>
教科書範囲	実技試験のみ行います。 ただし、受験するには各講座 (体育1~5)のレポートの後 半第1回(体育3は第2回も) が合格している必要がありま す。	P76~129 P130~ 保健編・用語解説 (試験範囲の用語について)
範ポート	後期に選択(申請)した種目の 実技試験を行います。体育1~ 5で俳修(2 講座受講)してい る人は、それぞれの講座(科目) ごとに試験を受けます。	後半 第1回~第3回
学習の要点	○それぞれが選択した種目で、基本的な技術の実技試験を行います。 ○受験する際の服装は、許可されたものに限ります。違反した場合の受験は認めません。 ※試験の時※ 運動するのにふさわしい服装で、各選択種目の活動場所に集合してください。	○主にレポートの内容に沿って 出題しますが、出題の形式は 変わる場合があります。 ○レポートの内容は教科書中心 ですが、学習書も関わってい ますので、教科書、学習書 をよく読んで学習しておきま しょう。

## 情 報

講座名	情報I(後半)
担当者	※本誌にて確認ください
教科書範囲	P62~81 P90~109
範ポート	後半 第1回~第3回
学習の要点	3章 コンピュータを活用する 4章 データを活用する 以上について、レポートの 内容を中心に出題する予定ですが、出題形式等は変更する場合がありますので教 科書をよく読み理解しておきましょう。

## 芸 術

講	T 150 T (640 N/)	****	*** * (\&\V)	*** = (\&\V)	<b>→∀</b> - ( <b>₩ ₩</b> )	*** (** \\
講座名	音楽 I (後半)	音楽 Ⅱ(後半)	美術 I (後半)	美術 II(後半)	書道 I (後半)	書道Ⅱ(後半)
担当者			※本誌にて	確認ください		
教科書範囲	<課題曲> 教科書 P18、19 「春が来た」「夏は来ぬ」「みかんの化唉 く丘」「うさぎ」「紅 乗」「冬景色」より 1 曲選ぶ(歌唱もし くは演奏)	<課題曲> 教科書 P23 「どじょっこふなっ こ」 P82 音階の例	教科書、デザインと 映像メディアの領域 P48~76	教科書、デザインと 映像メディアの領域 P34~55	レポート1~3回で 扱ったページ 〈古典作品〉 P40~48、P64~65 〈生活に広げる〉 P124~129	レポート 1 ~ 3 回で 扱ったページ 〈古典作品〉 P46~47、P49~51 〈仮名の書〉 P68~73 〈漢字仮名交じりの書〉 P 2~12、P82~97
シボート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回で 扱ったすべてのページ		すべての内容 後半 第1回~第3回	すべての内容 後半 第1回~第3回
学習の要点	・ アンドラ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ルーツ でも でしい ボール できない かっしん いか は かっしん でしい がっしん いか は かっしん いか は かっしん いか は かっしん いか は かっしん いか は がったい がったい がったい がったい がったい がったい がったい がったい	実技試験を行います。鉛筆を持参してく 色鉛筆を持参してく ださい。	実技試験を行います。鉛筆を持参してく の鉛筆を持参してく ださい。	・筆記試験の内書のでです。 で容・通常 ・・語書立、中が最大 ・・語書立、中が最大 ・・語書立、中が ・・語書立、中が ・・語書立、中が ・・語書立、中が ・・日間でいました。 ・・日間でいました。 ・・日間でいました。 ・・題もおきる。 ・・題もおきる。 ・・題もおきる。	・筆記試験のみです。 ・レポート、仮名でります。 ・レボート、仮名でります。 ・変漢字を中心には ・変漢を中心には ・数半さのでは、 ・数半さのでは、 ・数半さのでは、 ・数半さいでは、 ・変にしました。 ・変にできる。 ・変にでをををををををををををををををををををををををををををををををををををを

### 外国語

71				
講座名	英語コミュニケーション I (後半)	英語コミュニケーション II (後半)	論理・表現Ⅰ(後半)	英語入門(後半)
担当者		※本誌にて	確認ください	
教科書範囲	Lesson 7 ∼ Lesson 10	Lesson 6 ∼ Reading 2	Unit1 Lesson 7 ~12 ちがいがわかる伝わる英文法 07/08/11/12/13/14/15	Part 9 ~ Part 16
範レポート	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第6回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	○各レッスンの本文を読み(できるだけ音読かんでおく。 きるだけ音読かんでおく。 ・ 会をしまないでおく。 ・ 会レッスンの本文に表現を整めるとでは表現で表語、表しておりで表記を表しておりで表記を表した。 ・ 教科書と学習書の Target のページ、したカーリングをは、の形に、各の理解して、各の理解して、各の世界してない。 ・ しまがよりない。 ・ しまがよりない。 ・ しまがよりない。 ・ しまがよりない。 ・ しまがよりない。 ・ しまがより、一部といっないでは、まとがより、これにしておくられたし、一部といっない。 ・ では、ことを変える場合や、一部、発展問題もあります。	○教科書や学習書を見直し、復習する。また各レッスンをを読して内容や英語表現(本文の次のページの Target にあるもの)を理解しておくこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしているようにしておくこと。 ○各レッスンの単語や決こと。 ○各レッスンの文法事について教科書や学習書、授業で別いたブリントを利用して、理解しておくこと。	○教科書やスクーリング時に配布したブリントを復習して、英語表現や文法事項をまとめ理解しておく。 ○レボトの内容を中心に出題します。レボートの各種では、 します。レボートの各種では、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、 ででは、	○各 Part の教科書の説明をよく読んで復習しておくこと。 ○スクーリングで配布したプリントを見直すこと。 ○試験範囲のレポートを見直し、答えられるようにしておくこと。 ○各レッスンの学習内容を教科書、学習書、授業で用いたプリントを利用して復習し、理解しておくこと。

## 家 庭

講座名	家庭総合(後半)	消費生活(後半)	保育基礎(後半)	生活と福祉(後半)
担当者		※本誌にて	確認ください	
教科書範囲	教科書 P160~185 P192~199 P202~225 P230~259 P262~267 学習書 P98~167	教科書 P78~152	教科書 P74~131	教科書 P84~179
範ルポート	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回	後半 第1回~第3回
学習の要点	第7章	第4章 第5章 第6章 消費者契約と法 以上について、レポートの内容 を中心に出題する予定ですが、 出題形式などは変わる場合があ りますので教科書もよく読んで 理解しておきましょう。	第3章 子どもの生活 第4章 子どもの福祉 第5章 子どもの文化 以上について、レポートの内容 を中心に出題する予定ですが、 出題形式などは変わる場合があ りますので教科書もよく読んで 理解しておきましょう。	第4章 高齢者支援の法律と制度(3節 高齢者支援と地域包括ケアシステム)第5章 介護・看護の実習と生活支援(1節 介護の実習、2節 看護の実習、3節 生活支援)以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

## 商業

講座名	ビジネス基礎(後半)	簿記(後半)	情報処理(後半)
担当者	※本誌にて確認ください		
教科書範囲	教科書 P114~195	教科書 P92~212	教科書 P118~311
範ポート	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第4回	後半 第1回~第5回
学習の要点	※電卓持ち込み 必須 第5章 企業活動の基礎 第6章 ビジネスと売買取引 第7章 ビジネス計算 第8章 身近な地域のビジネス 以上について、レポートの内容を中心に出 題する予定ですが、出題形式などは変わる 場合がありますので教科書と学習書もよく 読んで理解しておきましょう。 *電卓を忘れないように!	※電卓持ち込み 必須 ○補助簿の作成 ・商品有高帳 ・元掛金、買掛金元帳など ○決算整理仕訳 ○8桁精算表 ○損益計算書と貸借対照表 ○3伝票と仕訳集計表 以上について、レボートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。 *電卓を忘れないように!	第3章 情報の収集と分析 第4章 ビジネス文書の作成 第5章 プレゼンテーション *EXCEL関数 (計算式) の確認をしておきましょう。 *グラフの作成方法とグラフの内容を確認しておきましょう。 *ブータベースやSQLの内容について確認しておきましょう。 以上について、レポートの内容を中心に出題する予定ですが、出題形式などは変わる場合がありますので教科書もよく読んで理解しておきましょう。

### 総務部より

### 卒業予定生のみなさんへ

卒業納付金は、後期試験期間中までに**事務室へ直接支払ってください**。 また、郵送する場合は必ず**現金書留**で郵送してください。

- ○後期試験期間中【1月18日(木)~1月28日(日)】までにお願いします。
- ○納付金額(終身会費) 3,000円 … 緑の納付書と一緒に提出します。

### 進路部より

## 令和5年度 島根県就職内定者合同研修(2月)の案内

企業への就職が内定している高校生の皆さんを対象に、安定した就労を目指すことを目的として、毎年2月に研修が実施されます。 <u>就職内定者は全員必ず参加してください</u>。日時・場所が決定次第、該当生徒には案内を送付します ので確認してください。

過去の研修内容: 学生と社会人の違い、すぐに使えるビジネスマナー、報告・連絡・相談で社内コミュニケーションを高める、目標設定など







写真は過去実施の様子

### 保健相談部より

# スクールカウンセラー(SC)の来校日程【12月・1月】(予定)

スクールカウンセラーの来校日をお知らせします。

生徒のみなさんだけでなく保護者様のご相談にも応じてくださいます(予約制)。ご希望の方は、SC 担当 <u>までご連絡ください</u>。その際には「ルーム・生徒氏名・スクールカウンセラーとの相談を希望したい」とお 伝えください。予約状況をお知らせします。 ※学校代表番号(0852)66 - 7577

来校日程は次のとおりです。

12月:18日(月):22日(金)

1月:15日(月):22日(月):31日(水)

| 時間 | 11:15~15:00(変更する場合もあります)



### 教育開発部より

## まなびのキセキ☆発表会 参加者募集について

令和6年2月21日(水)に行われる「まなびのキセキ☆発表会」の発表者を募集します。

### 【1 何をするの?】

#### ①発表 ②展示

自分の好きなこと、興味のあること、取り組んでいる活動などの内容をまとめて、「こんなことをやっています」 という発表もしくは展示を行います。発表の後には聞いていた人たちとの交流会もあります。個人でもグループでも 構いません。

発表は1チーム7分程度、展示は1チームパネル1~2枚です。

### 【2 どんなことを発表するの?】

「総合的な探究の時間」で自分の好きなことや興味のあることなど、発表原稿を作った人はチャンスです。また「総 合的な探究の時間」で調べたことではなくても、こういうボランティアに参加しました、とか、こういう習い事には まっています、など、内容は何でも構いません。「こんな作品をつくってみた」という展示もいいですね。昨年は通 信制の生徒から「宍道高校のイメージソングを作ってみた」という発表がありました。

去年の発表の様子です。



### 【3 どうすれば参加できるの?】

「ちょっと興味がある」、「どういう感じなのかもう少し詳しく聞きたい」という人は

**※本誌にて確認ください (職員室・教育開発部)** のところまで来てみてください。

### 【4 最後に】

自分が好きなことに取り組んでいる人は是非、それを誰かに伝えてみませんか?特に進学を考えている、就職面接 などで何かアピールポイントが欲しい、という人は是非、この機会に人前で話す経験をしてみましょう。(もちろん 特別活動の時間になります。)

### 申し込み締め切り1月末日(予定)みなさんの参加をお待ちしています。

### 編 | 集 | 後 | 記

12月になりました。今年もあとわずかですね。今年最後のスクーリングもつい先日でしたが、当初の計画通り に、スクーリングとレポートは、進みましたか?レポート合格締め切り日は12月26日ですが、できればその前 の週に全てのレポート提出を終えてしまいましょう。再提出になるかもしれないことを頭に入れて、少しでも余 裕をもっておきましょう。すっきりと気持ちよく、新年が迎えられることを願っています。私たちの合い言葉は 「あせらず、やすまず、あきらめず」です。最後までしっかり頑張りましょう。この言葉をかみしめながら、除夜 の鐘を聞きましょう。